



混雑解消と利便性向上を

新年度予算 9500万円



週刊 日本共産党
市議会報告

2018年3月5日

第1448号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & FAX
047-350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎047-355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎047-354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

新年度予算には、舞浜駅の機能強化とその周辺の開発を検討するための経費が次のように提案されました。

舞浜駅の乗降客数は一日平均15万6千人、デイズニー来園者と通勤通学者で駅ホームが大混雑し、身の危険を感じるという市民の声などもあり、日本共産党は混雑解消と安全な駅ホームに改善するよう、JR交渉や国交省からの聞き取りなど行ってきました。特に混雑の原因者であるOL社が改善を関係機関に要請することが必要であり、浦安市には、OL社からのJRへの働きかけを求めています。

また、舞浜駅周辺には郵便局や消防署など、市民が必要とする公共・公益施設がないことや、食品などの買い物への不便を訴える市民要望も切実です。

舞浜歩道橋（延長130m・幅3・5m）は自転車と歩行者の通行で事故なども発生し、安全対策が課題となり、日本共産党は市議会でも繰り返し改善を求めています。

北口と南口の機能を分離

内田市長は施政方針演説の中で舞浜駅について「アーバンリゾートゾーンの玄関口及び地域住民の生活拠点としての機能の向上を図るため、関係機関と調整しながら、北口と南口の役割分担や持たせるべき機能を整理し、再整備に向けた検討」を表明しました。

また、国が進めている舞浜交差点の立体化について引き続き、早期整備が図られるよう、国に働きかけて

いくことや、舞浜駅と舞浜地区を結ぶ歩道橋について、エレベーターの設置や、舞浜2丁目側で通勤時間帯に歩行者と自転車の錯綜がみられることから、新たな歩道橋整備を国に働きかけていくことなどを明らかにしました。そして、次のような予算を計上しています。

■舞浜駅周辺の土地利用に関する調査検討経費
496万8千円

舞浜駅周辺で、都市の拠点として必要な機能を整理し、北口を含めた周辺の開発イメージの検討を行う。

■舞浜駅ホーム延伸検討調査負担金
1000万円

舞浜駅ホームの混雑緩和対策としてホームを延伸するため、JR東日本千葉支社が行う高架耐力構造計算や基本調査に必要な費用を、JR東日本千葉支社、OL社、浦安市の3者で等分に負担する。

■舞浜歩道橋改修経費
1902万9千円

舞浜駅北口と舞浜2丁目地区を結ぶ舞浜歩道橋は国が新設をすすめているが、ペDESTリアンデッキ（市が管理）との接続に際し、OL社の用地の一部を市が取得して、歩行同線を確認できるようにする。

■舞浜駅南口バスターミナル暫定整備事業
6068万6千円

南口は一般車両の乗降場所不足やホテル送迎バス乗り場がわかりづらいなどの課題があり、これを解消するために、路線バスとホテル送迎バス乗り場を分けて別々に入出口をつくり、乗り場を整備する。

